

## 「高砂港向島突堤」(工楽松右衛門が築いた高砂港の石組み堤防)が選奨土木遺産に認定

令和5年9月22日に開催された土木学会理事会において、工楽松右衛門の初代から3代にわたって修築、改修、増築された高砂港の石垣積の波止、構造物が選奨土木遺産に認定されました。

— 以下、兵庫県東播磨県民局の広報誌よりそのまま転載して紹介しておきます。

### 1. 所在地

高砂市高砂町向島町・相生町(東播磨港高砂地区内)

### 2. 施設概要

- (1) 種別 東防波堤(一文字波止):L=95m + 75m=170m、西防波堤:L=25m
- (2) 構造 石積み護岸他
- (3) 竣工年 1866年(慶応2年)完成(着工:1808年(文化5年))  
[ 1961~1964年(昭和36~39年)修繕工事  
1961~1967年(昭和36~42年)埋立工事時に一部撤去 ]
- (4) 管理者 兵庫県(東播磨県民局加古川土木事務所)

### 3. 認定理由

- ① 1 工楽松右衛門が改修した当時(1800年代)の姿を偲ばせる石積みが部分的に残り、高砂港の改修と、そこに用いられた土木技術の歴史を現代に伝える貴重な構造物。
- ② 大型帆船が出入りできる港を整備したことで、物流量が増加し、高砂の経済発展に寄与した功績は非常に大きく、現在も播磨臨海工業地域の一翼を担っている。

#### 4 位置図

〔出典  
国土地理院〕



■問合せ先  
兵庫県東播磨県民局  
加古川土木事務所港湾課  
TEL : 079-421-9205  
FAX : 079-421-0072

#### 5 現地写真



以上